

2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月9日
東・名

上場会社名 株式会社リヒトラブ 上場取引所
コード番号 7975 URL <https://www.lihit-lab.com/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田中 宏和
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)早川 大介 (TEL)06(6946)2558
四半期報告書提出予定日 2024年1月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	6,607	4.1	△225	—	△158	—	△67	—
2023年2月期第3四半期	6,348	△4.1	△57	—	54	△85.6	38	△84.2

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 137百万円(△58.9%) 2023年2月期第3四半期 333百万円(△25.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年2月期第3四半期	円 銭 △19.90	円 銭 —
2023年2月期第3四半期	円 銭 11.30	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年2月期第3四半期	百万円 13,304	百万円 10,272	% 77.2
2023年2月期	百万円 12,732	百万円 10,220	% 80.3

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 10,272百万円 2023年2月期 10,220百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年2月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 25.00
2024年2月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2024年2月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	5.7	△90	—	10	—	80	—	23.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年2月期3Q	3,815,700株	2023年2月期	3,815,700株
2024年2月期3Q	422,648株	2023年2月期	422,390株
2024年2月期3Q	3,393,210株	2023年2月期3Q	3,393,368株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年3月1日~2023年11月30日)における我が国経済は、行動制限や水際対策の緩和により経済活動の正常化が進み、個人消費やインバウンド需要、輸出関連企業の収益等を中心に回復の動きがみられるものの、足元では足踏みがみられる状況となっております。

また、国際情勢の不安定化による原材料価格の高騰や円安による輸入物価の値上がり等に伴う消費者物価の上昇、世界的な景気後退の動きなど、先行きの景気下振れ懸念が払拭できない状態が続いております。

当業界におきましては、企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)やIoT(インターネットオブシングス)の進展によるペーパーレス化の加速により法人需要の縮小が続いておりますが、個人需要においては、ライフスタイルの多様化により趣味や嗜好に特化した製品の売上げの伸張が顕著となっております。また、販売チャネルでは、通販ルートへのシフトが進み、キャッシュレス支払の浸透によりEC市場の成長は続いております。店頭ルートも文具、事務用品専門店から総合スーパーやコンビニエンスストア、ドラッグストア等業態の枠を越えた取扱先が増加しております。

このような状況のもと、当社グループでは事務用品等事業におきまして「良い品はお徳です」をモットーに、皆様の暮らしに豊かさをもたらす製品、環境や時代及び多様化する需要にマッチした魅力ある製品の開発を積極的に進め、売上の拡大に努めてまいりました。

主な新製品としましては、国際環境NGOサーフライダーファウンデーションジャパン(SFJ)とのコラボレーションによる、オーシャンバウンドプラスチックから作られた2種類の素材を採用した、サステナブルなステーションナリー&ストレージグッズ「SFJ×L I H I T L A B.」、推し活応援サプライとして文具市場に新たなカテゴリーを提案いたしましたグッズ収納シリーズ「myfa(ミファ)」、少ない冊数の本やCD・DVDなどのケース類の収納物が倒れることなく整理できる「1冊でも倒れないブックスタンド」等を発表し、売上を伸ばしました。一方既存製品では、主力製品の机収納シリーズの「机上台」やロングセラーの「ルーパーファイル」のほか、「リクエストクリヤーブック」、「SMARTFITPuniLabo(スマートフィットプニラボ)スタンドペンケース」、OEM製品等が引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、事務用品等事業につきましては、このような新製品の積極的な投入や価格改定効果及び海外向け売上の増加等により前年同期比増収となりました。

不動産賃貸事業につきましては2023年9月に東京都墨田区菊川に収益物件として賃貸用住居を購入し、賃料収入の強化を図りましたが、一部物件に空室が発生したこと等により僅かながら前年同期比減収となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,607百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

利益面につきましては、コスト上昇分を販売価格へ転嫁し、経費削減に努めましたものの、一部の仕入価格の上昇が継続したことに加え、為替要因による輸入コストの上昇が予想を上回ったこと等により、225百万円の営業損失(前第3四半期連結累計期間は営業損失57百万円)、経常損失は158百万円(前第3四半期連結累計期間は経常利益54百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は67百万円(前第3四半期連結累計期間は親会社株主に帰属する四半期純利益38百万円)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

部 門	売上高(百万円)	構成比(%)	前年同期比増減(%)
フ ァ イ ル	1,875	28.4	3.0
バインダー・クリヤーブック	1,685	25.5	9.4
収 納 整 理 用 品	2,155	32.6	7.7
そ の 他 事 務 用 品	550	8.4	△14.0
事 務 用 品 等 事 業	6,267	94.9	4.4
不 動 産 賃 貸 事 業	340	5.1	△0.8
合 計	6,607	100.0	4.1

[事務用品等事業]

事務用品等事業は、以下の4部門に大別しております。

<ファイル部門>

クリヤーホルダー、リングファイル、パンチレスファイル、ルーパーファイル、クリップファイル等を主要製品とするファイル部門の売上高は1,875百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

<バインダー・クリヤーブック部門>

クリヤーブック、クリヤーポケット、ツイストノート、多穴リングバインダー等を主要製品とするバインダー・クリヤーブック部門の売上高は1,685百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

<収納整理用品部門>

ペンケース、机上台、クリヤーケース、バッグ、デスクトレイ等を主要製品とする収納整理用品部門の売上高は2,155百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

<その他事務用品部門>

スライドカッター、コンパクトホッチキス、カルテフォルダー、カルテブック等を主要製品とするその他事務用品部門の売上高は550百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

以上の結果、事務用品等事業の売上高は6,267百万円（前年同期比4.4%増）となる一方で、費用につきましては、コスト上昇分を販売価格へ転嫁し、経費削減に努めましたものの、一部の仕入価格の上昇が継続したことに加え、為替要因による輸入コストの上昇が予想を上回ったこと等により、306百万円の営業損失（前第3四半期連結累計期間は営業損失185百万円）となりました。

[不動産賃貸事業]

不動産賃貸事業は、2023年9月に東京都墨田区菊川に収益物件として賃貸用住居を購入し、賃料収入の強化を図りましたが、一部物件に空室が発生したこと等により僅かながら前年同期比減収となり、売上高は340百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は81百万円（前年同期比35.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ571百万円増加し、13,304百万円となりました。これは主として現金及び預金が増加したこと及び賃貸用住居取得により有形固定資産が増加したこと等によるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ519百万円増加し、3,031百万円となりました。これは主として借入金が増加したこと等によるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べ52百万円増加し、10,272百万円となりました。これは主として為替換算調整勘定が増加したこと等によるものであります。その結果、自己資本比率は77.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期通期連結業績予想につきましては、2024年1月5日に公表いたしました連結業績予想から修正しておりません。詳細につきましては、2024年1月5日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,077,469	1,448,321
受取手形及び売掛金	1,467,322	1,293,637
電子記録債権	302,122	254,995
商品及び製品	2,049,307	1,899,259
仕掛品	113,390	104,667
原材料及び貯蔵品	677,186	669,247
その他	342,185	195,012
貸倒引当金	△3,687	△3,087
流動資産合計	6,025,297	5,862,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,076,842	2,273,917
機械装置及び運搬具(純額)	114,740	131,427
土地	2,925,180	3,336,774
その他(純額)	90,742	106,455
有形固定資産合計	5,207,506	5,848,575
無形固定資産	16,379	41,552
投資その他の資産		
投資有価証券	1,096,500	1,124,866
その他	392,762	433,185
貸倒引当金	△6,112	△6,112
投資その他の資産合計	1,483,149	1,551,939
固定資産合計	6,707,035	7,442,067
資産合計	12,732,333	13,304,122

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	185,843	266,841
短期借入金	130,000	314,000
未払法人税等	13,793	11,132
賞与引当金	137,786	187,522
役員賞与引当金	12,490	22,875
その他	305,540	337,121
流動負債合計	785,454	1,139,492
固定負債		
長期借入金	315,000	516,000
繰延税金負債	224,775	218,241
役員退職慰労引当金	193,499	204,622
退職給付に係る負債	711,150	683,625
その他	282,034	269,432
固定負債合計	1,726,459	1,891,921
負債合計	2,511,913	3,031,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,830,000	1,830,000
資本剰余金	1,411,861	1,411,861
利益剰余金	6,521,178	6,368,821
自己株式	△401,259	△401,511
株主資本合計	9,361,780	9,209,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	498,514	538,711
繰延ヘッジ損益	86,605	125,461
為替換算調整勘定	242,987	365,347
退職給付に係る調整累計額	30,531	34,015
その他の包括利益累計額合計	858,639	1,063,536
純資産合計	10,220,420	10,272,707
負債純資産合計	12,732,333	13,304,122

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)
売上高	6,348,089	6,607,976
売上原価	4,443,157	4,746,297
売上総利益	1,904,932	1,861,679
販売費及び一般管理費	1,962,419	2,086,756
営業損失(△)	△57,487	△225,077
営業外収益		
受取利息	36	41
受取配当金	18,157	24,292
受取保険金	10,063	4,075
為替差益	84,770	41,298
雑収入	7,615	6,144
営業外収益合計	120,643	75,852
営業外費用		
支払利息	2,836	2,094
支払手数料	4,886	5,368
雑損失	1,346	1,850
営業外費用合計	9,069	9,313
経常利益又は経常損失(△)	54,086	△158,538
特別利益		
投資有価証券売却益	—	59,507
特別利益合計	—	59,507
特別損失		
固定資産廃棄損	1,638	—
特別損失合計	1,638	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	52,447	△99,031
法人税等	14,110	△31,506
四半期純利益又は四半期純損失(△)	38,337	△67,524
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	38,337	△67,524

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	38,337	△67,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,758	40,196
繰延ヘッジ損益	67,718	38,856
為替換算調整勘定	190,846	122,359
退職給付に係る調整額	5,273	3,484
その他の包括利益合計	295,596	204,896
四半期包括利益	333,933	137,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	333,933	137,371
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,005,199	18,860	6,024,059	—	6,024,059
その他の収益(注) 3	—	324,029	324,029	—	324,029
外部顧客への売上高	6,005,199	342,889	6,348,089	—	6,348,089
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,461	1,461	△1,461	—
計	6,005,199	344,351	6,349,550	△1,461	6,348,089
セグメント利益又は損失(△)	△185,121	127,634	△57,487	—	△57,487

- (注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。
 3. その他の収益の主なものは、不動産賃貸収入であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,267,900	20,242	6,288,142	—	6,288,142
その他の収益(注) 3	—	319,833	319,833	—	319,833
外部顧客への売上高	6,267,900	340,076	6,607,976	—	6,607,976
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,574	1,574	△1,574	—
計	6,267,900	341,650	6,609,551	△1,574	6,607,976
セグメント利益又は損失(△)	△306,969	81,891	△225,077	—	△225,077

- (注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。
 3. その他の収益の主なものは、不動産賃貸収入であります。